

全建発第27～223号  
平成27年11月20日

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 松田芳夫

印省略

## 第622回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）の 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万2千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い安全な国土づくり、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、これからの社会インフラの維持管理・更新など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第622回建設技術講習会では、・社会資本のストック効果の最大化等に向けたこれからの公共事業の展開、公務員技術者の今後の役割について、地域住民と民間企業との協働による公共事業の推進について、中長期的な社会資本整備および維持管理における品質確保について、新たな技術研究開発の推進などについて最新の情報を得ることを目的としています。

本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 松田 芳 夫  
印省略

## 第622回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成28年2月17日(水)～19日(金)、那覇市において標記講習会を開催いたします。

本講習会では、社会資本のストック効果の最大化等に向けたこれからの公共事業の展開、公務員技術者の今後の役割、地域住民と民間企業との協働による公共事業の推進、中長期的な社会資本整備および維持管理における品質確保、新たな技術研究開発の推進等について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は沖縄県(予定)・那覇市の共催、国土交通省・内閣府沖縄総合事務局(予定)の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

一般（非会員）		会員	
一般（非会員）（下記以外の者）	18,400円	正会員、特別会員、賛助会員（下記以外の者）	13,400円
		30歳未満〔全国〕	2,000円
沖縄県内の国・県に勤務	13,400円	地元〔沖縄県内の国・県に勤務、特別会員〕	2,000円
沖縄県内の市町村に勤務	2,000円	沖縄県内の市町村に勤務	0円
地元学生	0円	—	—

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満〔全国〕及び地元〔沖縄県内の国・県に勤務、特別会員〕は  
割引価格のため、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,900円〔うち昼食代1,200円〕

※現場研修のみの参加はできません

注) 今回の現場研修は受け入れ先の都合により人数制限(180名/大型バス4台)があります。  
申込締切日前に予定人数に達した場合には、現場研修の申込をお断りさせていただきます。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「622」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成28年1月29日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成28年2月5日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成28年2月12日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

## 第622回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）日程 ～公共事業が抱える諸課題と今後の事業の展開、公務員技術者の役割、 社会資本整備の中長期的な品質確保と新たな技術研究開発推進の動向などを学ぶ～

- ・社会資本のストック効果の最大化等に向けたこれからの公共事業の展開について
- ・公務員技術者の今後の役割について
- ・地域住民と民間企業との協働による公共事業の推進について
- ・中長期的な社会資本整備および維持管理における品質確保について
- ・新たな技術研究開発の推進について

会場 …… パレット市民劇場（パレットくもじ9階）  
〒900-0015 那覇市久茂地1-1-1 TEL098-869-4880(代)

(1日目)	平成28年2月17日（水）	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	内閣府沖縄総合事務局次長 沖縄県知事 那覇市長 (一社)全日本建設技術協会長	柳 橋 則 夫 翁 長 雄 志 城 間 幹 子 松 田 芳 夫
13:00 } 新時代における公務員技術者の役割と使命 13:30 ~全建の会員諸氏へ～	(一社)全日本建設技術協会長	松 田 芳 夫
13:40 } これからの暮らし・インフラ・技術 15:10	(一財)国土技術研究センター 理事長	谷 口 博 昭
15:20 } 【地域事業の紹介①】 15:50 那覇空港滑走路増設事業について	沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所長	坂 克 人
15:50 } 【地域事業の紹介②】 16:20 モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発 事業について	旭橋都市再開発(株)	駄 場 秀 夫
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞（17:30～19:00(予定)）		
ホテルサンパレス球陽館 2階「パレスコート」 TEL098-863-4181		
(2日目)	2月18日（木）	(敬称略)
9:40 } 国民に支持される公共事業のための5つのシナリオ 10:40 ~さらば公共事業悪玉論～	(公財)日本道路交通情報センター 副理事長 (一社)建設コンサルタンツ協会 インフラストラクチャー研究所 顧問	藤 本 貴 也
10:50 } 社会資本整備とコミュニケーション 11:50	筑波大学システム情報工学研究科 教授	石 田 東 生
13:00 } 【特別講演】 14:00 沖縄の発展と土木技術者	琉球大学工学部環境建設工学科 准教授	下 里 哲 弘
14:10 } これからの社会資本の品質確保と生産性の向上に 14:55 向けて	国土交通省大臣官房 技術調査課長	五 道 仁 実
15:05 } 今後の技術研究開発の推進について 15:50	国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術政策分析官	高 橋 敏 彦
15:50 } 閉会のあいさつ	沖縄県建設技術協会長 (沖縄県土木建築部土木整備統括監)	伊 禮 年 男
(3日目)	2月19日（金）	【現場研修】
モノレール旭橋駅（ペDESTリアンデッキ）（8:50）集合		
→ モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業（下車説明） → 沖縄都市モノレール延長整備事業（下車説明）		
→ 一般国道58号 浦添北道路（下車説明） → 昼食（那覇市内）		
→ 旅客ターミナル整備事業（那覇クルーズターミナル）（下車説明） → 那覇空港滑走路増設事業（車中説明）		
→ 那覇空港（15:50）着後解散		
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。		
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。		

## 第622回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業

那覇市泉崎

モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業は、モノレール旭橋駅と那覇バスターミナルが立地している特性を活かし、県都・那覇市の玄関口にふさわしい顔づくり、賑わいづくりなどを図るため、安全・快適な歩行者空間の整備とバスターミナルの利便性を向上させることで、交通結節点機能を強化し、また都市活動、都市生活を支えるための業務、商業、宿泊等多様な都市機能を導入することを目的に実施しています。

人、もの、情報の交流拠点の創造、観光と都市生活の融合、交通結節点の再構築、環境との共生、融合、調和などを目標に掲げ、県都として相応しい都市形成の実現を目指しています。

(視察キーワード：都市計画、地域活性化等)



### 2. 沖縄都市モノレール延長整備事業

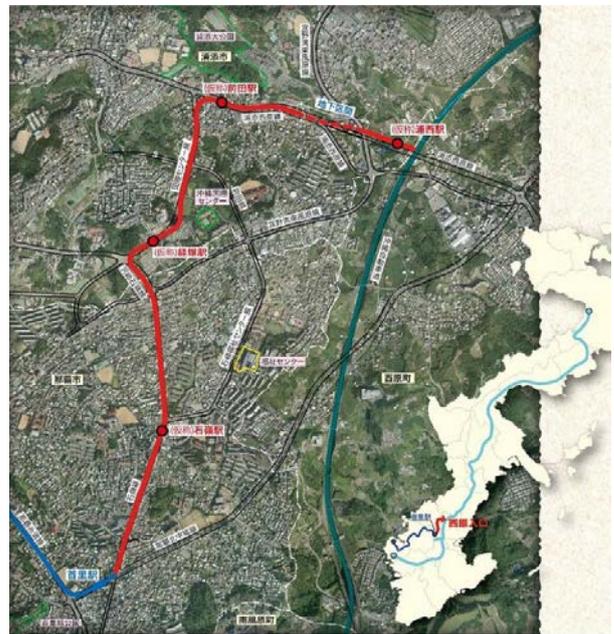
那覇市首里汀良町～浦添市前田

増大する自動車交通需要等により、公共交通機関へ転換促進する公共交通システムの構築が課題である中、ゆいレール乗客数は年々増加しており、地元客の利用促進に取り組むとともに観光客の受入体制を強化する必要があります。このため、都市の健全な発展と連携・交流を促進し、高齢化社会や地球環境問題等に対応した、自動車等とモノレールを基軸とした公共交通が共存する沖縄らしい戦略的な交通体系整備が強く求められています。

このような中、県土のバランスある発展に寄与する骨格道路網の整備推進と併せて、沖縄本島の定時定速の公共交通ネットワークを形成することが極めて重要であるとの認識にたち、当初計画で位置づけられた首里駅から沖縄自動車道（西原入口）までのモノレール延長に取り組むこととし、首里駅～てだこ浦西駅までの約4.1kmの間に4駅を整備しています。

ゆいレールと高速道路を結節することにより、中北部地域を含めた定時性の公共交通ネットワークが構築されることで、移動時間が短縮されるとともに交通渋滞が緩和されます。また、駅を中心としたまちづくりが促進されることで、新たな観光回遊ルートが地域の発展に寄与し、沖縄観光の魅力の向上につながることを期待されます。モノレールを整備することで、地球温暖化防止を目指し、温室効果ガスの削減にも寄与するとともに、住んでいる場所に関係なく、高齢者・障害者・子供たちまで全ての人に公共交通機関としてもやさしい交通手段となります。

(視察キーワード：都市計画、環境保全、地域活性等)



### 3. 一般国道58号 浦添北道路

浦添市港川～宜野湾市宇地泊

浦添北道路は、沖縄本島西海岸中部の読谷村から南部の糸満市に至る約50kmの地域高規格道路である沖縄西海岸道路の一部を形成し、浦添市西海岸を縦貫する全長2km、設計速度80km/hの自動車専用道路です。当道路は、交通渋滞緩和や那覇空港・那覇港へのアクセスの向上、那覇都市圏の交通混雑緩和を目的に計画された2環状7放射道路として、浦添市周辺の渋滞緩和・地域交流の促進に寄与する道路として計画されました。浦添北道路の整備により、浦添市内の通過交通を浦添北道路へ誘導することによって、国道58号沿線に展開する商業施設等へのアクセス交通の利便性を高めることが可能となります。また、浦添北道路は、中部方面からの交通を当該地区内に呼び込む役割を担う道路として位置付けられており、広域的な交通インフラの一部として広域からの来訪者の誘因の役割が期待されています。

(視察キーワード：地域活性、物流機能の効率化等)



#### 4. 旅客船ターミナル整備事業（那覇クルーズターミナル）

..... 那覇市若狭

沖縄県の自立的経済発展のリーディング産業として観光産業が位置づけられており、そのなかでも、国内外からの大型クルーズ船を利用した観光の進展は、今後、ますます期待されています。その反面、大型外航クルーズ船が定期就航しているにもかかわらず、観光客を受け入れる専用の岸壁やターミナルがなく、貨物を扱う岸壁を利用している状況であったため、沖縄の観光イメージの低下のみならず、人と貨物が混在することによる安全性への懸念や荷役作業効率の低下など問題となっていました。訪れる観光入域客数も700万人を超え、外国人観光客も増加しています。さらなる誘客促進を図るために国際海洋リゾート地形成に向けて「那覇港まちづくりマスタープラン」を作成し、泊ふ頭周辺を「外国客船と親しむゾーン」として位置づけて、「万国津梁の浪漫あふれる交流のみなとづくり」エリアとして、国内外を結ぶ大型クルーズ船の寄港・就航を促進する那覇クルーズターミナルの整備を下記の5項目を柱に掲げ、実施しています。



- ①観光客・県民が憩い・賑わえる「交流・観光拠点となるターミナル」
  - ②迅速な入出国等手続や観光情報等のサービス機能の確保など、快適性に優れ、多様な利用ができる「多機能ターミナル」
  - ③沖縄の海の新しい玄関口にふさわしい「シンボルとなるターミナル」
  - ④外国人観光客の利便性を高める「C I Q 機能完備のターミナル」
  - ⑤誰でも利用しやすい「ユニバーサルデザインのターミナル」
- 旅客ターミナルは、2階が主に出入国、税関審査等のためのスペースとなり、1階はエントランスホール、インフォメーションコーナーを設けました。屋上部分は、クルーズ船からの視点場を想定し、歓迎セレモニーが行える空間構成となっています。クルーズ船が寄港しない場合は、2階部分は多目的ホールとして各種イベント等に活用できるようにしています。
- （視察キーワード：ストック効果、地域活性等）

#### 5. 那覇空港滑走路増設事業

..... 那覇市大嶺崎地先

那覇空港は、沖縄の玄関口として国内外各地を結ぶ拠点空港であり、県内離島と沖縄本島を結ぶハブ空港としても重要な役割を果たしています。また、那覇空港は、沖縄県のリーディング産業である観光・リゾート産業のみならず、生活物資の輸送や県産農水産物の出荷等を通じて県民生活や経済活動を支える重要な社会基盤であります。近年、沖縄県を訪れる観光客は年々増加しており、それに伴い那覇空港では、夏場の観光シーズンや年末年始のピーク時を中心に、希望する時間帯の便の予約がとれないなどの状況が生じており、那覇空港の将来対応方策についての検討が重要な課題となっております。現在、那覇空港の沖合約160haを埋め立て、現滑走路から1,310mの位置に、長さ2,700m、幅60mの滑走路1本を増設する拡張工事を実施しています。滑走路増設事業の総事業費は約1,993億円で、年間発着枠は現在の約13.5万回から約18.5万回に増加する見通しとなっています。現在の那覇空港は3,000m滑走路1本を旅客機と貨物機、自衛隊機が共用しており、観光シーズンなどは混雑や遅延が目立ち容量が限界に近づいていました。このような中、那覇空港の将来整備のあり方について「那覇空港の総合的な調査」を実施し、調査結果を県民に公表し広くご意見をいただく「パブリック・インボルブメント（P I）」の手法を取り入れながら進めてまいりました。構想段階、施設計画段階、環境アセスメント調査を経て、航空法、公有水面埋立法等の手続きを行い平成26年1月より現地着手しています。現在、海上での護岸工事とともに、連絡誘導路部の埋立工事を実施中ですが、平成32年3月の供用を目指して鋭意工事を進めています。



（視察キーワード：住民参加、環境保全、地域活性等）

## 第622回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には那覇市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成28年2月16日(火)、17日(水)、18日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルルートイン那覇旭橋駅東 那覇市泉崎1-19-12 TEL098-860-8311	シングル	30名	5,500円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

### 案内図



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名  
(特別・賛助会員名、会社名)

## 第622回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）申込書

&lt;個人情報の取扱いについて&gt;

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場 研修	交 流 会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非 会員)	会 員	正会員 30 歳未 満			予約日に○を 記入して下さい		
								2月 16日	17日	18日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
<b>聴講料</b> ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)					現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※	宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 ください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。				
<b>現場研修料</b> 名×7,900円＝ 円			計 円							

↓全建に振込

## 【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

## 【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

## 【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

## 【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

## 【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

## 第622回建設技術講習会に参加の皆様へ！

### 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

**日時**：平成28年2月17日(水) 17:30～19:00(予定)  
(第622回建設技術講習会 1日目講義終了後)

**場所**：ホテルサンパレス球陽館 2階「パレスコート」

**会費**：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



#### 【交流会・意見交換会に参加予定の主な講師】(予定)

- |                           |          |
|---------------------------|----------|
| ・(一財)国土技術研究センター 理事長       | 谷口 博昭 講師 |
| ・(公財)日本道路交通情報センター 副理事長    | 藤本 貴也 講師 |
| ・筑波大学システム情報工学研究科 教授       | 石田 東生 講師 |
| ・琉球大学工学部環境建設工学科 准教授       | 下里 哲弘 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術政策分析官 | 高橋 敏彦 講師 |
| ・内閣府沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所長 | 坂 克人 講師  |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com